

ふたし 議会だより

みんなで さつとずつ もつと いい町へ



議会トップページへ

第 67 号
2021.5.1



2ページ 新年度予算をチェック

7ページ コロナ・雪害対策補正

15ページ 所管事務調査



シリーズ
ムチューデント美郷中
勇往邁進「女子バスケットボール部」
〔詳細は19ページ〕

令和3年度予算

一般会計111億円、六郷小改修へ

3月定例会を、3月1日から12日間の会期で開きました。
令和3年度当初予算は、4日に総括質疑を行い、5日・8日の予算特別委員会による審査を経て、12日の本会議で原案のとおり可決しました。その後、直ちに一般会計は予算を補正しました。

総括質疑

六郷小学校の大規模改修

森元議員 単年度事業としては多額だが、工事内容は確定したのか。また、3小学校に入学する児童は、令和8年度以降は20人前後となり、その後さらに減少する。学校のあり方についてどう考えるか。

教育長 実施設計を令和2年度に行い、内容は確定した。3小学校は数年後、小学年とも1学級になる。運動会を3校合同で行うなど、小規模校の短所を補う工夫をして、質の高い教育活動を続ける。



六郷小改修1億8939万円

会計区分	予算額	前年度比
一般会計	111億7174万円	0.6%
国民健康保険特別会計	22億6983万円	0.6%
下水道事業特別会計	2億1593万円	-1.1%
農業集落排水事業特別会計	1億8745万円	-35.1%
後期高齢者医療特別会計	2億2561万円	4.5%
水道事業会計(支出)	8億154万円	12.0%



予算特別委員会

いじめ対策はゼロ予算事業か

高山議員 「いじめ対策」の事業費は予算に計上されているのか。啓蒙活動やソーシャルワーカーの活用など、どのように考えているのか。
教育長 いじめ対策は重視しているが、予算の上には表れていない。活動は、各学校の日々の取り組みで行われており、関係する児童生徒への個別対応が中心になる。学校外のスクールカウンセラーなどの制度も活用している。

子ども医療費を18歳まで無償化

熊谷(良)議員 子ども医療費助成の対象範囲を15歳から18歳まで拡大して、かかる費用はいくら増えるのか。
福祉保健課長 令和3年度は8月から対象拡大となり、約800万円と見込んでいる。1年間では約1100万円である。

民生費国庫補助金

森元議員 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金について、事業概要は。
福祉保健課長 生活困窮者とその家族などの相談に応じ、情報提供や助言、県との調整、自立相談支援事業の利用勧奨など、必要な支援を行っている。週4日の体制で相談支援員が対応している。

イベントのネット配信

鈴木(正)議員 新型コロナへの対応で、イベントの参加者を制限することになった場合、参加できない人に向けてネット配信に取り組む必要があるのではないか。
教育長 参加者を制限する必要があるか、感染の状況を見て、適切な時期に判断する。制限した場合は、ネット配信等の工夫をしていきたい。

予算特別委員会

一般会計 歳入

町税

泉議員 個人町民税の各所得をどう算定したか。
税務課長 給与所得の推計には毎月勤労統計調査、営業所得の推計には小規模企業景気動向調査を用いた。新型コロナウイルスの影響により、どちらも前年度より減少すると見込んだ。農業所得は、JAの概算金が減額されたことなどから、減少と見込んだ。

高橋議員 町税の収納率をどう見込んだか。

税務課長 現年度分を97%と見込んで計上した。

一般会計 歳出

暮らし

結婚新生活支援助成金

深澤(均)議員 対象となる夫婦の要件は。
商工観光交流課長 令和3年1月1日から4年3月31日までに結婚し、ともに39歳以下で所得合計が400万円未満の夫婦を対象に、30万円を助成する。

ここにも注目!!
町税は減少、地方交付税は増加。自主財源比率は22・1%となり、前年度より低下した。



ここにも注目!!

飲用井戸の設置を補助する制度を創設する。地域福祉計画を策定する。

安全・防災

危険空き家等解体費補助金

深沢(義)議員 空き家の危険度判定は、どのように行っているか。空き家の解体には、最大80万円の補助が出るようになるのか。

住民生活課長 危険度の判定は、国土交通省の不良度判定基準に従っている。解体費の補助額上限を、50万円から80万円に引き上げる。

消防団の雨合羽

細井議員 消防団の雨合羽を購入するそうだが、団員数と比べて足りないのではないかと。

住民生活課長 出勤人数の年間実績を見て、団員数の6割、210着とした。雨合羽は各分団のコミュニティセンターに置き、管理してもらう。

捕獲檻

高山議員 イノシシの捕獲檻について「クマの匂いがしない専用のものを」と所管事務調査で意見を出したが、対応してもらえたか。

農政課長 クマ用、イノシシ用、それぞれ1基ずつ予算計上した。



教育・文化

美郷町奨学金返還助成制度

泉議員 創設する助成制度の概要は。

教育推進課長 秋田県奨学金返還助成制度に認定され、美郷町に住所があり、令和2年度以降に大学等を卒業し、3年4月1日以降に県内の企業等に就職した人が対象。奨学金を返還した後に助成する制度である。

子どもの遊び場づくり事業費

泉議員 未就学児童に土曜日の遊び場を提供する新事業「おやこふらつと広場」とは。

福祉保健課長 第1・2・3土曜日は認定こ

産業

畜産環境総合整備事業負担金

深澤(均)議員 事業費の内訳は。また、堆肥センターの処理能力は。

農政課長 堆肥センターの機能強化に、県の農業公社が総事業費およそ6億3千万円、2年間で取り組む。令和3年度は、実施設計、敷地の造成、新方式の堆肥発酵機の導入などに1億4700万円ほどかかり、そのうち7692万3千円を町が負担する。堆肥センターの現在の年間処理能力は約7千トンだが、今後は1万トン弱を処理できるようになる。



薬用植物栽培器具開発業務委託料

藤原議員 エイジツを引き抜く機械を開発す

ども園で行い、第4土曜日は住民活動センターで実施する。季節にあった工作などを親子で体験してもらう予定。

美郷町オリジナル絵本

鈴木(正)議員 事業の概要と、配布の方法について説明を。

生涯学習課長 町への関心を育み、幼少期から読書に親しんでもらうことを目的に、美郷町のオリジナル絵本を制作する。絵を描くのは、美郷大使の永田萌さん。3年間の計画で事業を進め、完成時は3歳児から7歳児に配布し、次年度からはこども園に入った3歳児に配布する。

内田議員 予算に計上されている報償費は、永田さんに支払われるものか。制作と編集の全体的な取りまとめをする人は誰か。

生涯学習課長 制作委託料として、令和3年度は約100万を予算に計上した。報償費は、永田さんが来町して取材する際の交通費など。編集や出版に関する作業全般を「妖精村」(永田さんの事務所)に委託し、印刷と製本まで担当していただく。

六郷高等学校教育振興会補助金

鈴木(正)議員 額が年々減少しているが、どう算定しているのか。

JALとの人事交流

るそうだが、設計から製造までは相当な金額がかかるのでは。

農政課長 開発は大田区産業振興協会に委託する。970万円の予算の中には、設計から製造までが含まれている。

村田議員 JAL人事交流事業と、地域おこし企業人事交流プログラムについて説明を。

総務課長 令和3年度のJAL人事交流事業は、町からは職員を派遣せず、一方だけの人事交流になる。地域おこし企業人事交流プログラムは、平成26年度から行われている総務省の事業である。JALからの出向者には美郷町の魅力や価値を高める業務に従事してもらう。

温泉運営費補助金

藤原議員 額が前年度の倍以上になっているが、どのように算定したか。

商工観光交流課長 3温泉の年間利用者数を10年前と比較すると、約10万人も減少している。値上げをせず、サービスの質も落とさずに運営していくことを考えると、年間で約3900万円の赤字になると見込まれるため、その額を予算に計上した。補助金の交付は、年度末に赤字額が確定してから行う。

教育推進課長 学校の活動を伝える通信の発行などに取り組むための人件費分を、3年間は上乘せしてきた。補助金がどのように使われているか確認し、額を決めている。

小中学校の耳鼻科医報酬

村田議員 小学校は1・3・5年生、中学校は1・3年生に耳鼻科健診を実施するとのことだが、隔年とする理由は。

教育推進課長 眼科健診は令和3年度から毎年実施となるが、耳鼻科健診は時間がかかるため、委嘱医を2名に増やした新体制でも、毎年実施するのは難しい。



聖火リレー実物トーチ展示
(令和2年3月役場庁舎玄関ホール)

国民健康保険特別会計

国民健康保険税

泉議員 滞納繰越額の予算への計上割合は、
税務課長 滞納繰越額の20%収納を目標にした。

若年者特定健診

細井議員 30歳と35歳を対象に令和3年度から実施する健診とは。

福祉保健課長 町独自の施策として、若年者を対象に健診を実施することで、将来における健康リスクの低減を目指す。健診料金は無料である。

水道事業会計

水質検査手数料

森元議員 水質検査をどのように行っているか。

建設課長 原水は毎月、細菌がないか調べ、年に1回は37項目の検査をしている。塩素消毒をした浄水は、毎月9項目の検査をしている。毎年700万円以上の費用をかけて水質検査を行っている。

令和3年度一般会計補正予算

2億9555万円を追加し、総額を114億7300万円としました。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

2374万円

医師・薬剤師・看護師への報償、コールセンター業務・接種会場設営・駐車場警備の委託料など、新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費を追加する。

深澤(均)議員 接種業務に携わる人数の内訳と日数、接種者数の目安は。

福祉保健課長 65歳以上の接種を対象としたもので、1日当たり医師3人、看護師5人、薬剤師1人を配置し、7日分の報償費を計上した。接種者数の目安は、医師1人で1時間当たり30人前後の接種を想定している。

雪害対策緊急支援事業補助金

1億968万円

大雪により被害を受けた農業施設等（パイプハウス、果樹等）の復旧に補助する。

あったか山源泉ポンプ復旧事業

1040万円

一般会計予算・討論

反対

泉議員 職員の削減が行われており、賛成できない。職員数は定員適正化計画より既に少なくなっている。住民生活を取り巻く環境が変化している中、全体の奉仕者として職員の果たす役割は大きくなっている。住民ニーズに答えられる体制を求める。

賛成

細井議員 第2次美郷町総合計画の最終年度に合った、目指す町の姿の達成が期待できる予算である。歳入では、繰入金を前年度より2億556万円減らしている。歳出では、ハード面は各分野にバランスよく、ソフト面は美郷町ならではの特色ある事業に、予算を配分している。

藤原議員 美郷ならではの事業を確実かつ柔軟に行い、バランスにも配慮した、個性あふれる予算である。特に教育環境維持、農業支援制度、福祉におけるの新事業は、今後の美郷町の発展に大きく寄与するものと期待できる。防災面における取り組みなど、将来の準備もされている。

県外大学生等応援事業

57万円

美郷町出身で、町外に住民登録している大学生等へ町の特産品を贈呈する。

こども園・放課後児童クラブ・小中学校環境整備事業

1021万円

トイレ手洗い器用水栓の交換、空気清浄機・A1体温検知カメラ等を購入する。

村田議員 水栓交換後の方式の割合は。

教育推進課長 自動式・レバー式・プッシュ式水栓の割合は、こども園は約36%、放課後児童クラブは約51%、小中学校は約23%となり、残りはハンドル式となっている。

雇用促進支援金

296万円

新卒者・移住者・コロナ離職者の町民を6か月以上雇用する町内の事業者に対し、支援金を給付する。

地域応援券事業

1億2429万円

全町民へ1人当たり6千円の商品券・飲食券・サービス券を給付する。

感染症対策環境整備支援事業補助金

3000万円

町内の中小企業・個人事業主を対象に、換気扇・網戸・手洗い場等の設置に補助する。

飲食事業者感染症対策間仕切り設置支援事業補助金

400万円

飲食業を営む町内の中小企業・個人事業主を対象に、店舗への間仕切りの設置に補助する。

中小企業振興資金保証料補給等補助金

288万円

利子補給率を引上げ、利子補給期間を延長する。



○：賛成 ●：反対

採決結果

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。議長は採決には加わりません。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果
議員名	深沢 義一	高橋 邦武	鈴木 正洋	内田 清文	泉 美和子	森元 淑雄	高山 茂雄	細井 邦男	熊谷 良夫	伊藤 福章	鈴木 良勝	村田 薫	藤原 政春	深澤 均	熊谷 隆一	澁谷 俊二	
◎令和3年第4回議会定例会 (3/1~3/12)																	
議案第24号 令和3年度美郷町一般会計予算																	
	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

3月定例会

令和3年度予算以外の議案では、令和2年度補正予算6件、条例など12件、人事4件を審議し、その全てを原案のとおり可決・同意しました。

令和2年度一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、農地集積加速化基盤整備事業費負担金、温泉運営費補助金などへ1億7578万円を追加し、総額を147億805万円としました。

温泉運営費補助金

3993万円

温泉施設への落雷や源泉ポンプ故障による長期休業は、指定管理者の責に帰すことができない事情により発生した。指定管理者団体を健全な形で維持・継続するため、営業の損失について補助金を交付する。

村田議員 休業中の社員の勤務状況は。

商工観光交流課長 他の指定管理施設に勤務を振り替えしている。

熊谷(良)議員 六郷温泉あったか山の営業再開の見通しは。

商工観光交流課長 雪消え等の状況を見ながら対応していく予定で、3月中の工事着手は難しい。

陳情

採択 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

産業建設常任委員長(伊藤議員)

「最低賃金の引き上げは、人間らしく暮らせる生活を作ることになり、地域経済を活性化させることにもなる」「新型コロナウイルスの影響で大変な思いをしている人が多い」などの意見があり、出席委員の全会一致で「採択すべき」とした。

人事

【副町長】

次の方の選任に同意しました。(再任)



佐々木 敬治氏 (新町)

【教育長】

次の方の任命に同意しました。(再任)



福田 世喜氏 (寺田)

【人権擁護委員】

次の方の推薦を可決しました。(再任)



藤谷 純子氏 (西高方町)

(再任)



高橋 智子氏 (扇田)

条例

制定 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

こども園の担任業務を行う会計年度任用職員に、特殊勤務手当を支給する。

泉議員 責任の重さなどを考えると、正職員を増やすべきではないか。

総務課長 正職員を増やすと、後年度において子どもの減少等への対応に苦慮する。職員の病気休暇など非常時に対応するもの。

廃止 美郷町行政センター設置条例

公共施設等最適化実施計画に基づく美郷町中央行政センターの機能廃止に伴う条例の廃止。



美郷町中央行政センター

訂正とお詫び

みさと議会だより第66号3ページ「予算補正」の一部に、誤りがありました。深くお詫びするとともに、訂正します。

(誤)

会計名		補正総額	補正後累計
水道事業会計	収益的支出	△77万円	4億1484万円
	資本的支出	54万円	4億326万円

(正)

会計名		補正総額	補正後累計
水道事業会計	収益的 収入	△77万円	4億1484万円
	収益的 支出	54万円	4億326万円

正しくは「収入」でした

正しくは「収益的」でした



3月11日の本会議では、4議員が5項目について一般質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

たかはし くにたけ 議員 ◇地域公共交通の維持・確保について

いずみ みわこ 議員 ◇新型コロナ対策について
◇自主防災組織について

うちだ きよふみ 議員 ◇当町における新型コロナウイルス感染症について

すずき まさひろ 議員 ◇雪に強いまちづくりを

一般質問とは？

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。

高齢者へ交通助成券の交付を

町長 実施の是非を検討したい



たかはし くにたけ 議員
高橋 邦武 議員

議員 人口減少等により公共交通の維持・確保が厳しくなっている。一方で、高齢により免許の返納が増えている現状がある。現在の計画では、乗り合いバスや乗り合いタクシーの利用状況を調査し、利便性の向上について検討するとしている。

乗り合いバスの利用状況はどうか。通学する高校生のバス定期券に助成をして、利用促進を検討しても良いと思う。

乗り合いタクシーについては、4月1日より制度改正しての運用になるが、その利用状況や検討結果について聞く。交通弱者と言われる人たちの移動手段としては、運行便数が町民のニーズに答えられていないのではないかと。また、利用目的の把握や、乗降箇所の周知をより改善すべきだ。

新型コロナウイルス感染症の影響で、事業者は経営が厳しくなっている。また、高齢者は社会交流機会の減

少により、フレイル（脆弱）の状態になりやすくなっている。一般タクシーも利用可能な交通助成券を交付してはどうか。

町長 路線バスは、現在3路線5系統の運行となっており、3路線とも利用者の減少が続いている。交通事業者とは情報共有や意見交換をして、関係市町が歩調を合わせ、補助金交付による路線維持に努めている。高校生に対する利用促進の助成は、通学に対する支援の公平性確保の観点で難しい。

乗り合いタクシーの利用状況は、登録者が令和2年12月末971人で、昨年より45人増加している。延べ利用者は平成30年度が6357人、令和元年度が6190人となっている。

制度改善に向けては、アンケート調査を実施して検討しており、運行便数の増加、乗降拠点の見直しにつなげている。時間帯や曜日

の拡大については、民業圧迫とならないように今後の検討課題としたい。制度周知は、新たな機会も検討したい。

交通助成券交付については、多方面の観点で実施の是非について検討したい。





いづみ みわこ 議員 泉 美和子

学生へ再度支援金を

町長 状況の変化に応じて検討

議員 新型コロナウイルス感染症の長期化で、困窮する学生や子育て世帯などが増えている。
学生への支援金を再び給付すること、子育て世帯や生活困窮世帯への支援策の実施するよう求めるが、見解を聞く。

町長 令和2年度は、「大学生・高校生等応援給付金事業」を実施して、本町出身の学生569人に対して給付金を支給、一定の成果があったと認識している。現在のところ、同じ目的で支援金を再び給付する事は考えていない。

今後、ウイルスの変異などにより取り巻く環境に大きな変化が生じ、学生の生活等に対応が必要な際は検討する。

子育て世帯・生活困窮世帯への支援策については、昨年、児童手当受給者に対して、国の「子育て世帯への臨時特別給付金」と町の「美郷子育て世帯応援給付

金」を、児童一人当たりそれぞれ1万円を支給し、子育て世帯の生活支援を行ってきた。

また、令和3年度には県が児童手当受給者世帯および住民税非課税世帯に対して、一人当たり1万円の商品券を配布することを決定した。

町では全町民に地域応援券の交付を予定している。

自主防災組織の活動に支援を

町長 主体的活動には支援を検討

議員 近年、大雨洪水や暴風雨被害などが多発しており、日常的な防災・減災の取り組みが必要である。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、自主防災組織の活動も十分でなかったと思

われるが、活動状況はどうか。日常的な訓練等に財政支援を求める声もあるが見解を聞く。

町長 町へ支援を依頼し、防災研修等を開催した自主防災組織は、令和元年度は5組織、令和2年度は4組織であった。

町は、自主防災組織の主体的な活動に支援をしてきた。ハード面では、発電機、投光器など防災機材等の整備に、これまで13組織に計2310万円を助成してきている。ソフト面では、各組織の指導者研修会を通じ指導者育成を図っている。

これまでと違う主体的活動を展開したい組織があれば、内容と規模に応じて適切な支援策を検討する。



ポストコロナを見据えた第3次美郷町総合計画は

町長 町の特色を大切にしていく



うちだ きよふみ 議員 内田 清文

議員 新型コロナウイルス感染症対策について、次の5点の見解を聞く。
①事業者や農業者にどのような影響が出ているのか、その調査結果は。

②地域応援商品券やプレミアム付き宿泊券、環境整備支援事業補助金などの事業が実施されたが、これらに対して町民や事業者からどのような反応があったか。
③コロナ禍で行事や活動が中止あるいは延期となったが、関連予算の減額はいくらか。また、減額となった経費の使途は。

④9月議会で町長は、感染防止対策と経済活動のバランスを取ることが大切と答弁しているが、どのようなことをしていくべきと考えているか。
⑤令和3年度中に「第3次美郷町総合計画」を策定することだが、他の自治体にはない町独自の考えがあるか。

町長 ①電話調査で町内37

事業者は景況感を確認したが、新型コロナウイルスの影響で元年度より売り上げが減少したと回答したのは、6業種の25事業者となっている。農業分野では、水稲の国内需要の減退、外食需要の減少、在庫増加などの影響により、米価の下落が心配される。

②商品券・食事券は「町民全員が使用できてよかった」「町内の飲食店を利用する機会となった」などの言葉を多くいただいた。一方で「施設に入所している人は、食事券の使用が難しい」という声もあった。

プレミアム付き宿泊券事業期間内の宿泊者数は、昨年同期比38%増となっており、効果は十分にあったと認識している。

環境整備支援事業補助金は、402万4千円を交付しており、事業者から効果があったとうかがっている。
③減額予算総額は、歳出6700万円、歳入1300万円です。差引5400万円



ラベンダー美郷雪華を活用した商品

となる。使途は一般会計に充当されている。
④感染防止対策では、ワクチン接種を円滑に実施していくことに尽きる。経済活動では、国の交付金を活用し、事業者の円滑な事業展開に向けた支援や町民の生活支援に努める。

⑤町はこれまで、他自治体に先んじて企業との連携、ラベンダー美郷雪華の活用など「美郷ならではの取り組みを実施してきた。こうしたことは町の特色として大切に、今後も各般にわたり推進していく。

共同化で導入経費を削減

◆調査内容

秋田県町村共同電算システムの現状と今後について 《企画財政課》

情報システムの開発・運用コストの削減を目的に、県内12町村で共同電算システムを導入し、平成25年度から運用している。共同電算システム導入により、約45%の経費削減、災害時のデータバックアップ強化などの効果がある。

秋田県町村共同電算システムは、国が進める官公庁のデジタル化を先見した取り組みである。

◆意見

システムの共同化により、経費削減など多くの効果が認められる。システムのデータセンターは、防犯・防災対策が徹底されており、安全性を確認することができた。

国のデジタル化には、スムーズに移行できるものと考えられる。

備蓄品の一括管理を

◆調査内容

新型コロナウイルスの影響による窓口対応及び感染症対策備蓄品の現状と今後について 《総務課・税務課》

町では、職員や町民等が新型コロナウイルスに感染した場合を想定し、対応フロー図や公共施設対応方針等を作成している。

申告相談では「三密の回避と消毒」を基本とし、受付での検温、仕切り板の設置、相談毎の消毒、定期的な換気等を行っている。

感染症対策備蓄品は、アルコール消毒液を総務課で一括管理している。

配布物の減少を

◆調査内容

町内配布物の現状と今後について 《総務課》

配布物は、原則月2回(1日、15日)、行政協力員を通じ、118行政区、6,345戸(2月1日現在)に配布している。

配布部数の世帯数区分に応じて、行政事務連絡委託料を交付している。

広報印刷物配布の基準を定め、安易にチラシを配布せず、情報は可能な限り広報美郷等に掲載することを原則としている。

◆意見

高齢化が進むこともあり、郵便等を使った配布方法について費用比較も含め検討していただきたい。

「回覧」は、全世帯を歩かせることになり、留守世帯があればスムーズに流れないこともあるため、安易に用いられるべきではない。

◆意見

新型コロナウイルスに感染した場合の対応について、現在想定できる準備はされており評価する。

アルコール消毒液以外の備蓄品についても、一括で管理できないか検討していただきたい。



申告会場における感染対策を調査

融雪槽の設置に補助を



議員 鈴木正洋

町長 今後検討していく



融雪槽を使った除雪作業

議員 雪に強いまちづくりについて、次の4点の見解を聞く。
①六郷地区の中央通り線の消雪を、今後どのようなようにしようと考えているのか。
②六郷町部の流雪溝整備について、今あらためて、住民に考えを確認するべき

ではないか。
③個人が融雪槽を設置する際、町で補助する考えは。
④排雪を行う優先順位は、どうなっているのか。町から作業予定の情報提供があれば、苦情も減少すると思

町長 ①改善策は、消雪施設の機能向上しかないと思

ない場合は、午前1時から午前7時まで実施する。六郷地区の排雪は、先に東西の通りを行い、その後南北の通りを実施している。降雪状況によっては、予定を大幅に変更せざるを得ない状況も生じる。除排雪作業は強い緊張感を伴い、またオペレーター確保が困難な状況などを踏まえると、排雪情報を提供することは考えていない。

住民が快適に生活できる施設整備を

◆調査内容

後三年地区農業集落排水浄化槽設置工事について 《建設課》

- 農業集落排水処理施設6ヶ所
後三年、飯詰、野荒町、上畑屋、本堂、一丈木処理区がある。
六郷地区は公共下水道施設で、浄化処理施設は大仙市にある。
町の目標である「令和3年度水洗化率80%」は達成する見込みである。
- 300人槽に計画変更
後三年地区農業集落排水処理場は、昭和61年に800人規模の処理施設として供用開始された。人口減少を勘案すると300人槽で十分なことが判明、計画変更し工事を実施した。
- 土壌脱臭装置を採用した理由
土壌中の臭気成分は、ろ過材と共に土壌に吸着され、微生物による分解後、無臭のガスとして大気へ発散される。

- 今後の農業集落排水処理施設の整備
飯詰処理場については公共下水道への接続を計画している。千畑地区の処理場についても、人口減少を鑑み公共下水道への接続などいろいろな選択肢を検討している。

◆意見

人口減少を見据えて効率的な設備工事が行われたと評価する。
地域住民の立場に立って、土壌脱臭装置を採用したことを評価する。
今後も排水処理施設の整備について、住民が快適に生活できるように調査検討を重ねていくことを求める。



工事の進捗状況の説明



浄化槽を視察

可視化で「わかる」が「できる」に

◆調査内容

小中学校におけるタブレット型パソコンの活用について 《教育推進課・美郷中・六郷小》

六郷小学校には、タブレット238台、美郷中学校にはタブレット423台が設置されている。「調べ学習」や動画撮影による動きの確認など、可視化することで「わかる」が「できる」につながるメリットがある。また、中学校では技術の「情報」でプログラミングの学習が行われている。

◆意見

タブレットを活用しての学習は、児童生徒が意欲的に取り組んでいるようであった。
教室における電子黒板、タブレット端末を収納する充電保管庫等の環境整備に取り組んでいただきたい。



美郷中でタブレット授業を視察

共通認識で学校運営に反映

◆調査内容

学校現場での保護者からの意見への対応について 《教育推進課・美郷中・六郷小》

小中学校では、保護者アンケートを年2回実施し、アンケート結果に学校からの回答を付けて保護者へ配布している。校内外の環境等のことや保護者の子どもに対する願いや思いを受け止める機会であり、誠意を持って対応している。

◆意見

職員間で共通認識を持ち、スピード感を持って学校運営に反映させていることを評価する。児童生徒の登下校時の交通安全等の危険を減らすために町、各種団体と連携し、対策に努められたい。



六郷小で学校運営の説明

セルフケアの積極的な推進を

◆調査内容

高齢者介護の状況について

《福祉保健課》

令和2年12月31日現在の65歳以上の人口は7,381人で、そのうち要介護認定者は1,448人(19.3%)である。在宅介護では、介護者手当支給事業、介護用品(おむつ)支給を行っている。介護サービスは介護度の低い人の6割程度、介護度の高い人のほとんどが利用している状況にある。

◆意見

高齢者人口の増加とともに要介護者が増加しないよう、介護予防事業や認知症予防事業、セルフケア事業を積極的に進めていただきたい。

第2回臨時会

(令和3年2月1日)

議案1件を審議し、全員賛成で原案を可決しました。

一般会計補正予算

新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費、従来の制度に加えて豪雪や暴風雪など自然災害により被災した住宅等の復旧工事も補助対象とする住宅リフォーム補助金の増額、公民館移動式観覧席修繕工事費などへ2021万円を追加し、総額を144億4321万円としました。

第3回臨時会

(令和3年2月16日)

議案1件を審議し、全員賛成で原案を可決しました。

一般会計補正予算

除排雪費の増額、農業の雪害対策緊急支援事業補助金などへ8905万円を追加し、総額を145億3226万円としました。

雪害被害への助成は

村田議員 雪解け後に判明する果樹の枝折れ等への助成はないのか。
農政課長 復旧に対する支援は、内容の調整・検討を行っており、関係予算の提案に向けて作業を進めている。

議会の動き

- 2月1日 議会運営委員会
- 2月1日 第2回議会臨時会
- 3日 政策等意見交換会
- 3日 総務常任委員会(所管事務調査)
- 12日 秋田県町村電算システム共同事業組合定例会
- 16日 秋田県町村議会議長会理事会
- 16日 議会運営委員会
- 19日 第3回議会臨時会
- 19日 政策等意見交換会
- 22日 大仙美郷介護福祉組合議会定例会
- 24日 大曲仙北広域市町村圏組合議会定例会
- 3月1日 議会運営委員会
- 3月1日 第4回議会定例会(12日)
- 5日 議会広報常任委員会
- 5日 予算特別委員会(8日)
- 8日 議会運営委員会
- 8日 総務常任委員会
- 9日 産業建設常任委員会
- 9日 議会連絡会
- 11日 教育民生常任委員会
- 12日 議会広報常任委員会
- 12日 政策等意見交換会
- 13日 政策等意見交換会
- 16日 議会運営委員会
- 21日 議会広報常任委員会
- 4月5日 議会広報常任委員会
- 4月5日 大仙美郷介護福祉組合議会臨時会

秋田県町村議会議長会

自治功労者特別表彰



泉 美和子 議員
議員在職30年

◆主な経歴
六郷町議会議員
(昭和63年6月～平成16年10月)
美郷町議会議員
(平成16年11月～平成19年3月、
平成21年10月～現在)

自治功労者表彰



澁谷 俊二 議員
議員在職23年

◆主な経歴
仙南村議会議員
(平成9年9月～平成16年10月)
美郷町議会議員
(平成16年11月～現在)
美郷町議会議員
(平成29年10月～現在)



鈴木 良勝 議員
議員在職11年

◆主な経歴
美郷町議会議員
(平成17年10月～平成21年9月、
平成25年10月～現在)

第7回 ムチューデント 美郷中 女子バスケットボール部



キャプテンの最上友佳梨さんにお話を聞きました。
部員数は2年生11人、3年生11人で週5日、練習に励んでいます。昨年は新型コロナウイルスの影響で限られた試合数でしたが、自分達のやるべきことに目を向け取り組みました。チームの特色は、美郷中らしい元気とやる気を常に持ち、練習や試合に望むことです。今後の抱負は「目の前にある試合に一戦必勝で挑む」と語ってくれました。
今年はそのスローガンである「勇往邁進」の精神で頑張ってください。

★クイズ

【問1】 道の駅改修工事費(道の駅棟)は○億9148万円 →【正解】 2

【問2】 今回の表紙は美郷中男子○○○○○ボール部 →【正解】 バスケット

◎クイズ当選者

多数のご応募、議会や議会だよりに対するご意見・ご感想ありがとうございました。抽選の結果、次の方々が当選しました。

- 伊藤恵佳 様 小沼芳枝 様 上田陽子 様
- 杉沢リウ子 様 藤原ヒサ 様

みさと
議会だより
第66号
クイズ
正解と当選者



シリーズ キラリ美郷 vol.62

心身ともにスッキリと ～3B体操“美郷”～

お問合せ

代 表：照井代根子さん
日 時：第1・3水曜日 19:00～21:00
場 所：美郷町南ふれあい館
連絡先：照井代根子さん (0187-82-1236)



? クイズ

問1 令和3年度一般会計当初予算は、
〇〇〇億円

問2 今回の表紙は美郷中
女子〇〇〇〇〇部

〇の中だけお答えください

応募方法

はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で5人の方に粗品を差し上げます。また、**議会へのご意見**をお待ちしております。

あて先

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日

令和3年5月31日(当日消印有効)

●次回定例会は、6月上旬を予定しています。
日程は6月1日発行の「お知らせ版」をご覧ください。

「3B体操『美郷』」代表の照井代根子さんにお話をうかがいました。

◇

当サークルは、仙南村の時に加藤吉昭先生が生涯教育の一環として始められ、今年で22年になります。

3B体操は、3つの用具(ボール・ベル・ベルト)を使い、様々な音楽に合わせて行う体操で、昭和46年に始められました。誰でも無理なく、楽しみながら続けることができます。

ベルターの伸び縮みを利用した体操は、関節の可動域を拡げ筋肉の柔軟性を高めるため、美しい姿勢づくりにも効果的です。

終わった後はストレスもなくなり、仲間との楽しい会話で心身ともにスッキリします。

毎月2回、第1・第3水曜日の19時から南ふれあい館で活動しています。

みなさんも一緒にリフレッシュしてみませんか？

見学、入会をお待ちしております。